

## 平成29年度 第4回岐阜県道徳教育振興会議の報告について

## 1 開催日時及・場所

平成30年2月1日（木）午後1時30分から午後4時まで  
 於：岐阜県総合教育センター第2棟1階 第2研修室

## 2 会議の流れと委員から出された主な意見

## ■説明事項

～平成29年度道徳教育パワーアップ研究協議会について～

- ①実践校の取組について
- ②研究協議会全体の成果と課題について

## &lt;委員から出された主な意見&gt;

- どの実践校（可児市立旭小学校、瑞浪市立瑞浪中学校、県立土岐紅陵高等学校）も、道徳教育を充実させようと職員が一丸となって取り組み、道徳の授業改善をはじめ、指導の充実を児童生徒の姿で示すことができていた。
- どうしても教員主導の授業、型にはまった授業のように見えてしまう。もっと自由な中で教師も児童生徒も一緒になって、生き方を見つめていけるような授業づくりに努めていく必要がある。
- 以前に比べ、地域の方の参加が少なくなった。地域を巻き込んだ道徳教育そのものが薄れているように感じる。
- 是非、若い教員に道徳の授業の在り方を見て学んでもらいたい。例えば研究協議会への参加を初任者研修に位置付けるなどして、今後を担っていく若手教師のスキルアップ、意欲の喚起につなげるとよい。

## ■協議事項

～平成29年度の成果と課題、平成30年度の方向性について～

- ①道徳教育振興会議のもち方について
- ②「1家庭1ボランティア」運動について

## &lt;委員から出された主な御意見&gt;

- 次年度位置付けられる、県教委指定の道徳教育パワーアップ実践校と道徳教育振興会議実践協力校の役割はどのように違うのか。本会議はパワーアップ実践校には指導助言はしないのか。
- パワーアップ実践校は文部科学省の事業を受け、「考え議論する道徳」への質的改善を図るため、多様で効果的な授業の在り方について実践研究をしてもらう。
- 実践協力校は校長の経営方針のもと、学校・家庭・地域社会が一体となった学校における道徳教育を推進するためのモデルとして位置付ける。1家庭1ボランティアにも積極的に取り組んでもらう。
- 道徳教育をより充実させていく中で、道徳教育振興会議委員の減員は、趣旨と異なることにならないか。
- 本会の趣旨に基づき、より充実した会の運営ができる各界各層に委員を依頼できるよう、今後委員の構成を検討していきたい。